

平成21年度決算が認定されました

平成21年度決算が市議会9月定例会で認定されましたので、主な内容をお知らせします。なお、決算書は、市役所の情報スペース、図書館でご覧になれます。

問合せ財政課 ☎551・1534

▶▶▶ 一般会計 ◀◀◀

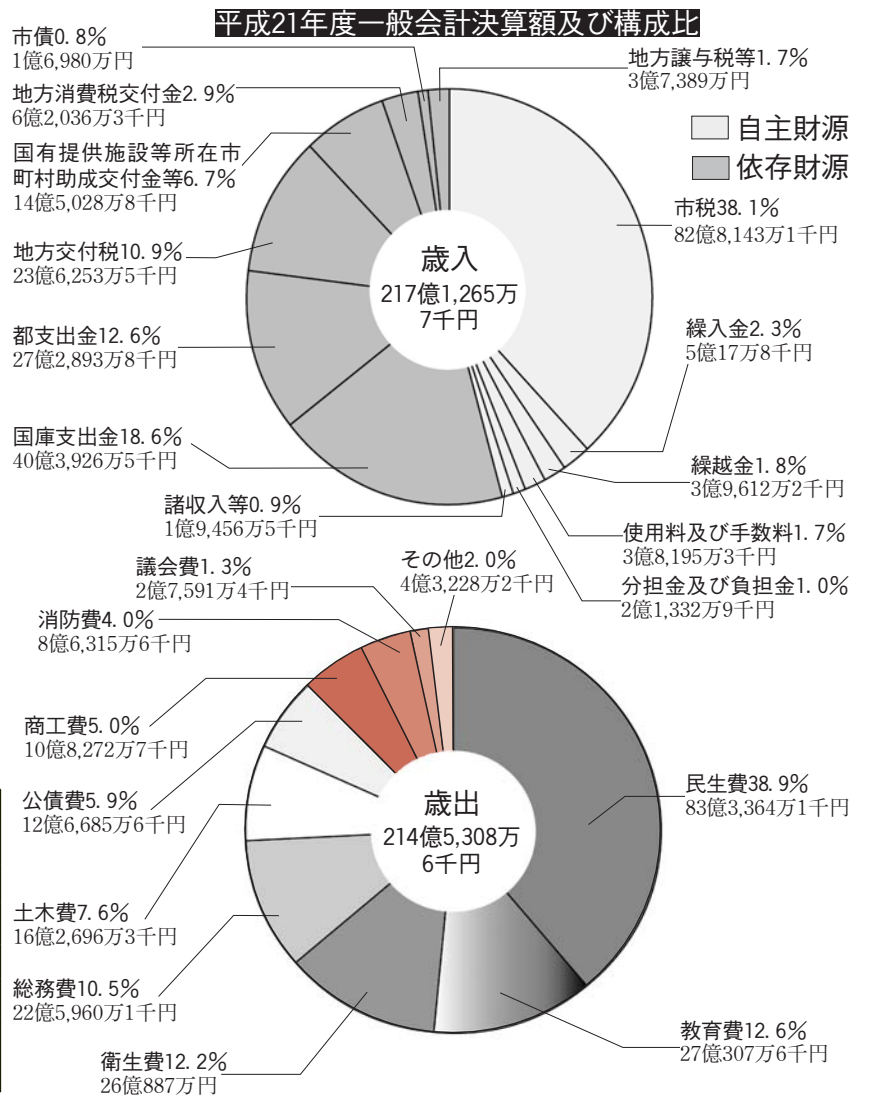
平成21年度の一般会計決算額は、歳入(収入)が217億1,265万7千円、歳出(支出)が214億5,308万6千円で収支差引額は、2億5,957万1千円、翌年度繰越財源を除いた実質収支額は、2億3,952万4千円となりました。歳入額は前年度に比べて3.7%の増、歳出額は4.4%増となっています。また、21年度から20年度の実質収支額を差し引いた単年度収支額はマイナスの1億1,672万5千円となっています。一般会計決算額と歳入歳出項目の割合は、右の円グラフのとおりです。

▶▶▶ 特別会計 ◀◀◀

特別会計の6会計の決算は、下表のとおりです。特別会計の決算額は、全体で歳入が116億3,440万1千円、歳出が114億2,181万1千円となり、歳入は前年度に比べて3.2%の減、歳出は3.4%の減となっています。下水道事業会計の歳入では下水道使用料の大幅な増加がありました。国民健康保険特別会計では、療養給付費などの歳出が増加し、財源が4,050万円不足し、22年度予算から繰上充用という赤字補てんをするなど大変厳しい運営状況となっています。

平成21年度特別会計決算

会計	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
国民健康保険特別会計	59億6,882万8千円	60億932万8千円	△4,050万円
老人保健医療特別会計	1,950万8千円	1,643万9千円	306万9千円
介護保険特別会計	29億602万7千円	28億2,717万円	7,885万7千円
後期高齢者医療特別会計	7億7,148万4千円	7億3,331万4千円	3,817万円
下水道事業特別会計	16億3,174万2千円	14億9,874万7千円	1億3,299万5千円
受託水道事業特別会計	3億3,681万2千円	3億3,681万2千円	0円
合計	116億3,440万1千円	114億2,181万円	2億1,259万1千円



前年度との主な比較(歳入)

- 市税(3.3%減)**
景気悪化が大きな要因となり、前年度に比べ市税全体で2億8,210万4千円の減となっています。
- 地方譲与税(2.7%減)**
平成20年度までの地方道路譲与税に代わり地方揮発油譲与税が新設されましたが、340万1千円の減となっています。
- 自動車取得税交付金(50.0%減)**
エコカー減税や自動車販売台数の低迷などの影響により、6,238万3千円の減となっています。
- 地方交付税(5.0%増)**
全国の自治体が一定のサービス水準を維持できるよう交付されるもので、普通交付税は、国予算総額の増加などにより1億262万7千円増加、特別交付税は、特殊な財政需要に対応するための算定額等の増加により、前年度に比べ885万3千円の増となっています。
- 国庫支出金(30.7%増)**
主に定額給付金給付事業への補助金や保育所運営費等に対する民生費国庫負担金の増により、9億4,858万7千円の増となっています。

都支出金(9.3%増)

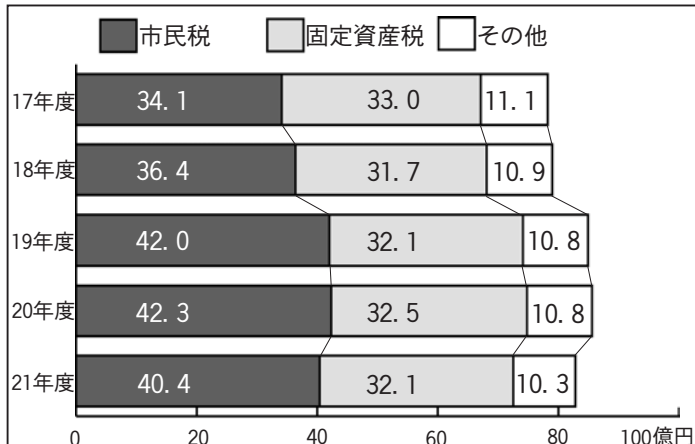
- 市町村総合交付金や緊急雇用創出事業への補助金などの増により、2億3,164万6千円の増となっています。
- 市債(49.3%減)**
20年度に行なった平成6年度福生地域体育館新築事業借換債などの減により、1億6,520万円の減となっています。なお、国の財源不足に伴う普通交付税の減を補うための臨時財政対策債は20年度に引き続き借入れなしです。
- 繰入金(6.8%増)**
財源不足を補うための基金の取崩しなどの収入で、21年度は、福生病院建設費負担金に充てるため、都市施設整備基金から2億5,500万円、教育施設整備のため、学校施設等整備基金から6,700万円、福祉バス運行経費などのため、再編交付金事業基金から6,851万2千円を繰入し、全体では3,176万8千円の増となっています。
- 繰越金(25.3%増)**
21年度の前年度繰越金は、20年度と比べ、7,998万5千円増加しています。

前年度との主な比較(歳出)

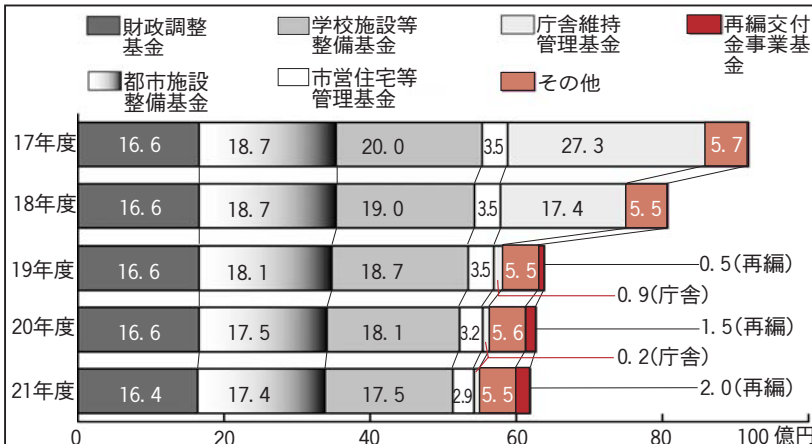
- 総務費(0.3%増)**
交通安全対策費や町会関係費のほか、税務事務や財務・会計事務をはじめ、企画・広報など、市役所業務に必要な経費です。21年度決算では、退職手当特別負担金などにより、694万9千円の増となっています。
- 民生費(0.5%増)**
高齢者・障害者・子育て支援・生活保護などのための経費で、保育所運営委託事業や生活保護費などにより、4,555万4千円の増となっています。
- 衛生費(0.1%増)**
保健衛生や環境対策、ごみ処理などのための経費で、福生病院組合建設費負担金や妊婦健康診査などの増により、184万2千円の増となっています。
- 商工費(948.3%増)**
定額給付金給付事業などにより、9億7,944万4千円の増となっています。
- 土木費(6.4%減)**
道路建設や公園整備などまちづくりのための経費で、20年度に行なった福生かに坂公園駐車場整備事業や防衛施設周辺道路整備事業の減少などにより、1億1,192万2千円の減となっています。
- 消防費(13.4%減)**
消防署業務の東京都への委託や、消防団等の経

- 費、災害対策費が主なもので、19・20年度に行なった防災行政無線施設改良事業の終了などにより、1億3,358万8千円の減となっています。
- 教育費(10.4%増)**
教育の充実や文化・スポーツの振興のための経費で、国民体育大会会場となる福生野球場・市営競技場整備事業などにより、2億5,543万5千円の増となっています。
- 公債費(12.8%減)**
市債(長期借入金)の元利金を返済する経費で、1億8,657万8千円の減となっています。
※一般会計では公債費のほか、繰出金や負担金の支出の中で、市の下水道事業会計や西多摩衛生組合など一部事務組合等の借入金に対し、その元利償還金の一部を負担しています。
【市の繰出金や負担金の中に含まれている準公債費的な支出】
▶下水道事業会計繰出金のうち、約3億7,400万円
▶一部事務組合への負担金のうち、約1億1,200万円
▶障害者施設・特別養護老人ホーム等への建設費補助金約6,900万円。なお、下水道事業会計への繰出金は、公共下水道・流域下水道整備に必要とした借入金の元利償還金分のうち、市民の皆さんからの使用料等でまかなえない部分への補てん額で、一部事務組合(西多摩衛生・瑞穂斎場・東京たま広域資源循環・福生病院)への負担金は、施設整備のための借入金に対する元利償還金分の負担額です。

市税収入の推移



積立基金の推移



市民一人当たりの納税額及び歳出額(普通会計)

